



検診のススメ

現在、わが国のガンによる死亡者数は年間30万人を超え、死亡原因の第1位を占めるようになりました。しかし診断と治療の進歩により、一部のガンでは早期発見、そして早期治療が可能となってきました。一宮市でも5月～10月まで住民検診にて、各種ガン検診が受けられます。

検診は、単に多くのガンを見つけることが目的でなく、ガンを早期発見して、適切な治療を行うことで、ガンによる死亡を減少させることなのです。

* 肺がん

肺がんは、**日本のがんによる死亡数のトップ**になっています。

無症状のうちに検診を受診し、早期のうちに治療すれば、約8割が治るようになりました。

【肺がんの原因】

- タバコ、また人が吸ったタバコの煙(副流煙)を吸い込む受動喫煙
タバコを吸う習慣のある人は吸わない人の10～20倍ものリスクがあります。
- アスベスト
建築資材や防音材、断熱材などさまざまな用途で使われていましたが、のちにアスベストは人体にとって有害な物質であることが発覚しました。

【肺がん検診の基本情報】

対象者：平成24年度に40歳以上になる方

費用：無料

検診内容：問診、胸部レントゲン撮影、痰の検査(必要な方のみ)

* 胃がん

近年、日本人の胃がんによる死亡率は減少しています。しかし、胃がんになる人の数は、人口高齢化の影響で非常に増えています。つまり胃がんになる人は増加しているが、完治する人が多いため、死亡する人はあまり増加していません。

これは日本における胃がん早期発見・早期治療の進歩が著しい証拠と考えられます。胃の X 線検査によって、70～80%の確率でがんが発見できます。この検査は、胃がんによる死亡者が多かった日本で開発されたもので、日本が誇る検査技術です。

【胃がんの原因】

- 食生活
塩分の摂りすぎや、食品添加物の中には発がん性物質が含まれているものがあります。野菜や果物の不足も、がんの抑制力の働きが鈍る要因です。
- 喫煙
タバコの煙には、遺伝子を傷つけたり、がん化を促進させる発ガン物質が含まれています。
- ピロリ菌
胃の粘膜に存在する細菌で、40歳以上の日本人の場合、7割ほどがピロリ菌感染者というデータもあります。ピロリ菌がアンモニアなどの毒素をだして、胃に炎症を生じさせます。そして慢性胃炎になると、やがては萎縮性胃炎となり、胃がんや胃潰瘍になる可能性があります。

【胃がん検診の基本情報】

対象者：平成24年度に40歳以上になる方

費用：2000円

検診内容：問診、胃部 X 線直接撮影(バリウム検査)

* 大腸がん

大腸がんは、かつて日本では少ないがんとされていましたが、2000年には、大腸がんになった患者数が毎年10万人を超えるようになっており、急速に増加しています。

【大腸がんの原因】

生活習慣：肉食中心の高脂肪食、お酒の飲みすぎ、喫煙習慣

【大腸がん検診の基本情報】

対象者：平成24年度に40歳以上になる方

費用：500円

検診内容：問診、便潜血反応検査(2日法)